焼額山登山コ**ー**ス[登山道]

焼額山登山（やけびたいやまとざん）コースは、プリンスホテル前バス停 から奥志賀高原ホテル（おくしがこうげんほてる）バス停までの中級者向け登山道である。全長7キロメートルのコースの標高差は400メートルで、終点までの所要時間は2時間強。

コースは焼額山（やけびたいやま）山頂（2,009m）まで延びており、山頂からは、夏には草に覆われたゲレンデの景色を、秋には赤や黄色の色鮮やかな紅葉の景色を望むことができる。また、山の上の小さなカルデラにできた稚児池（ちごいけ）の鏡のような湖面も眺めることができる。池のほとりには木の鳥居が立っており、そこに小さな石の祠がある目印となっている。鳥居の高さは約3メートルあるが、不思議なことに一番上の梁にたくさんの硬貨が差し込まれている。これは、冬になると鳥居に手が届くほどの雪が積もり、スノーシューを履いた人やバックカントリーのスキーヤーたちが梁に硬貨を簡単に差し込むことができるためである。

また、このコースは青々と茂ったオオシラビソ（*Abies mariesii*）の群生林の中も通り抜ける。オオシラビソは大枝から突き出た紫色の球果で見分けることができる。オオシラビソの樹液や、シラビソなど同属の木の樹液は、レモングラスに似たピリッとしたレモンのような香りがし、手首やこめかみに塗って蚊除けとして使うことができる。